



校長室の窓

ふく と く やまぐちけんいち うんどうかい

『福～ひたむきに取り組む山口県一の運動会～』をめざして

夏休みに入る前のことです。運動会実行委員長の中学部3年の川野虎之助くんが校長室にやってきました。「校長先生、運動会のスローガンの『ひたむきに取り組む山口県一の運動会』のあたまの部分に一字を入りたいのですが、校長先生の方でよい文字を考えてもらえますか」「おお、ええよ。」と簡単に返事をしたものの、熟語ではなく、一字を考えるのは結構難しいことでした。福栄小中学校がめざす学校像の中にある「山口県一美しい福栄小中学校」の「美」にしようか、「ひたむき+ぬくもり+さわやか=誠実」の「誠」にしようか、考えましたが、最終的には「福栄」の「福」にしました。

福は幸福（こうふく＝しあわせ）の福です。この福の1文字には、運動会の主人公である児童生徒の皆さん、先生方、そして、運動会を見に来てくださる家族や地域の皆さん全員がしあわせな気持ちになるような運動会であってほしいという気持ちが込められています。



皆さんも知っているように、「ひたむき」とは福栄小中学校のめざす学校像とめざす児童生徒像の両方に出てくる言葉です。私は、ひたむきイコール一生懸命とはとらえていません。心を込めて一生懸命取り組む姿が「ひたむき」だと思っています。心を込めて一生懸命取り組んでこそ、初めて味わうことができる気持ちがあるのです。心を込めて一生懸命取り組まないと、見ることができない世界があるのです。そして、心を込めて一生懸命取り組むからこそ、その一生懸命さが見ている人に伝わるのです。

運動会のスローガンは、9月17日の本番だけみんなで意識して取り組めばよいというものではありません。運動会本番に向けて、福栄小中学校の児童生徒全員がこのスローガンを意識して練習に取り組むことに、スローガンの大きな意味があるのです。

運動会は、すべてが演技です。自分たちが出場する競技種目や演技種目はもちろん、入場行進、開会式、閉会式、応援も大切な演技なのです。それらすべてを通して、皆さんのひたむきさを多くの人たちに伝えてください。



9月の声を聞き、朝夕は確かに涼くなりましたが、日中はまだまだ暑さが続いています。暑い中での練習は結構つらいものです。しかし、小中学生78名全員でスローガンを意識して、毎日の練習に立ち向かっていきましょう。この9月の時期は、県内のあちらこちらの学校で運動会が行われます。その中であって、「山口県で一番みんなの一生懸命さが伝わってくる運動会」にしてほしいと思います。

みんなでひたむきに取り組むことで、自分たちも、そして、自分たちを応援して下さる多くの皆さんも、幸福（しあわせ）な気持ちになる運動会、それこそ地域に「福」をもたらし、「福」が栄えるような運動会になることを願っています。

